

平成29年8月28日付【水道産業新聞】  
 北海道支部＜下水道災害時の支援で協定＞  
 北海道支部初の締結

下水道災害時の支援で協定

水コン協  
 札幌市 北海道支部初の締結

全国上下水道コンサル  
 タント協会（水コン協）  
 北海道支部は7日、札幌  
 市との間で「災害時にお  
 ける下水道技術支援協力  
 に関する協定」を結んだ。  
 市が管理する下水道施設  
 が被災した場合などに、

同支部の会員企業が、被  
 害状況の調査や応急復  
 旧、災害査定資料の作成  
 などの業務に関して技術  
 支援協力することを定め  
 たもの。同支部が、災害  
 時における被害の拡大防  
 止や、下水道施設の早期

復旧に資することを目的  
 に、道内の自治体と技術  
 支援協力に関する協定を  
 結んだのは、今回が初め  
 だ。

札幌市役所で開かれた  
 締結式に出席した吉岡亨  
 ・副市長は、「水コン協  
 は、熊本地震の際もいち  
 早く支援されたと伺って  
 おり、協定が締結できた  
 ことを大変心強く思っ  
 ている。札幌市民の安心安  
 全にとつて、有効で有意  
 義な協定となることを期  
 待している」と話した。

佐藤謙二・水コン協北



副市長吉岡亨（左）と協定書を手にする佐藤支部長（右）

北海道支部長は、「熊本地  
 震では、協会として初め  
 て事業体との間の協定を  
 基にした支援活動を行っ  
 た。協定に基づく支援活  
 動をさらに明確化するた  
 め、今年3月の理事会で  
 は、災害時の活動などに  
 関する規定を改正し、協  
 定に基づく支援活動での  
 会員と協会との連携、役  
 割の分担などを定めた。

これまで培ってきた専門  
 的な技術や経験を活か  
 し、札幌市民の安全安心  
 について、責務の一端を  
 果たしてまいりたい」と  
 応じた。

水コン協と事業

体との間の協定締  
 結は、香芝市、岐  
 阜県、熊本市、益  
 城町、横浜市、富田  
 林市、北九州市、  
 広島県につづき札  
 幌市が9件目とな  
 る。